

令和5年度

試験名:国際バカロレア特別入試(10月募集4月入学)【人間学群 心理学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題	<p>1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文(英文)は、2011年に出版された Alicke, M.D.と Sedikides, C.による“<i>Handbook of self-enhancement and self-protection</i>”の第20章“<i>Cultural perspectives on self-enhancement and self-protection</i>”から一部を抜粋・改変したものである。問題文では、具体的な現象を示した上で、それぞれの文化において肯定的な自己評価を獲得するために、個人の自己を高揚・保護すること、文化的自己を高揚・保護すること、そして、それらにおいて文化が役割を担っていることが平易な文章で丁寧に解説されている。このような点で、心理学に関心をもつ受験生にとって内容的にも有益な題材であり、英文の難易度も適切であると判断し、選定した。</p> <p>問1は、問題文で重要な内容となる、文化的自己を高めたり保護したりすることで、間接的に個人の自己に対する肯定的な見方を高め保護することができることについての下線部①を日本語へ適切に訳すことができるかどうかを問う問題である。</p> <p>問2は、現象1ならびに現象2の内容を理解した上で、それらが意味することを日本語で適切にまとめられるかを問う問題である。</p> <p>問3は、下線部②についての内容を理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるかどうかを問う問題である。本文では、文化的背景に関係なく、東洋人と西洋人の個人は肯定的な自己評価の交渉において、個人の自己を高揚・保護すること、文化的自己を高揚・保護することの2つのアプローチをとること、両アプローチにおいて文化が役割を担っていることが説明されている。この点を踏まえ、自分の体験や知識に基づき、適切に論述できるかどうか問われる。</p> <p>2. 採点要領</p> <p>(1) 試験時間は2時間で、辞書の持ち込みは許されていない。</p> <p>(2) 問題は問1から問3までである。英文を題材として、文章の理解と理解した内容に関する自分の考えを論述する能力を問う問題である。</p> <p>(3) 各問題文、配点、採点基準、解答例は以下に示す通りである。</p> <p>問1 下線部①を日本語に訳しなさい。</p> <p><採点基準></p> <p>(1) 下線部①の英文を適切に訳出できていること。動名詞(主語としての動名詞)(<i>enhancing, protecting</i>)の適切な理解や、“<i>through</i>”(「～を介して、～を通じて」)の適切な使い方が求められる。</p> <p><解答例></p> <p>文化的自己を高めたり保護したりすることは、個人が自己と文化を結びつけることで、肯定的な自己評価につながる。つまり、文化に対する肯定的な見方を高めたり保護したりすることで、間接的に個人の自己に対する肯定的な見方を高め保護することができるのである。(122字)</p> <p>問2 Phenomenon 1、2の内容を要約したうえで、このphenomenonからわかることを説明しなさい。</p> <p><採点基準></p> <p>(1) 現象1(アメリカ人)と現象2(中国人)がそれぞれ異なった側面の肯定的な自己評価交渉を行うことを適切に説明し、要約することが求められる。</p> <p>(2) 現象1の内容、すなわち、アメリカ人が自分の知識を過大評価することが</p>

記述されていること。

- (3) 現象2の内容、すなわち、中国人が社会的に適切な行動（医師の指導に従うこと）を示す意欲を誇張することが記述されていること。
- (4) 上記（2）、（3）を通じて、肯定的な自己評価の交渉を示すことが記述されていること。
- (5) 全体の完成度や適切性について。

<解答例>

アメリカ人は、栄養情報の理解において38カ国中1位であると自身を位置づけるが、アメリカ人の38%の回答者のみが血糖指数を聞いたことがあり、58%のみしか飽和・非飽和脂肪酸の区別を知らなかった。また、中国人が、一般医薬品への態度とその使用の関係について尋ねられた際、86%の回答者が、一般医薬品の購入について意思決定を行うときに、医師の意見が主に考慮すべき事柄であると主張していた。しかし、3分の2の回答者のみしか、過去1年にそのようなことを実行していなかった。これらの現象より、人は知識を過大に見積もったり、社会的に望ましい行動を示す意欲を誇張したりすることによって、肯定的な自己評価を交渉することがわかった。(299字)

問3 下線部②について、日本人にみられると考えられる2つのアプローチの具体例を挙げなさい。そして、positive self-evaluation negotiation についてのあなたの考えを600字以内で述べなさい。

<採点基準>

- (1) 本文で述べられている肯定的自己評価の交渉の2つのアプローチ（個人的な自己あるいは文化的自己を保護し高める方法）について正しく理解していること。そのうえで、肯定的自己評価の交渉により、肯定的な自己評価が高まるのかどうかといった帰結について議論したり、2つのアプローチが妥当であるのかといったことについて、自身の体験や知識に基づき、論理的に記述されていること。
- (2) 本文の2つのアプローチが明確に説明されているか。
- (3) 解答者の意見が明確に述べられているか。
- (4) 文章はわかりやすく、論理的で明晰か。
- (5) 独創性（ユニークさ）が認められるか。